



救難飛行艇US-2の離着水訓練

発行元・編集／山本辰哉

E-mail/mttatsu1@gmail.com

URL/tatsuya-yamamoto.net

皆さんこんにちは、岩国市議会議員の山本辰哉です。  
季節は秋へと移り変わり、大変過ごしやすい気候となりました。  
さて、9月議会一般質問では「高齢者・障がい者に優しい道路整備」や  
「こども館にっこの今後の整備計画」について市の見解を伺いましたの  
でご報告いたします。



## 質問内容と答弁

Q：山本 A：市の答弁

### ☆高齢者・障がい者に優しい道路整備について（道路課） ・トンネル内の照度について

#### 関々トンネルなど、暗過ぎる理由を伺う

#### 早急な点検と整備の必要性を県に伝える

**Q** 関戸から和木町に続く関々トンネル、国道187号から美和町方面へ向かう、県道岩国佐伯線の森ヶ原トンネルは異常に暗い。交通事故が多発する中、何故この暗さを放置するのか理解に苦しむ。高齢者の運転免許証自主返納が促される中、先ずは高齢者・障がい者に優しい環境づくりをする事が、行政の責務ではないのか。暗過ぎる理由を伺う。

**A** 高齢化社会を背景に高齢者ドライバーも増えていることから、明るさの変化に対する順応力の低下にも配慮した安全対策も必要であると考えている。早速現場を確認したが確かに暗かった。早急な点検と整備の必要性を県に伝える。

## ☆高齢者ドライバーの急加速抑制装置の設置補助事業について (くらし安心安全課)

運転免許証の返納を促す前に何らかの支援が必要ではないのか

設置に係る補助制度について前向きに検討する

**Q** 全国的に高齢者ドライバーの事故が増加している中、本年7月東京都において、「高齢運転者による安全運転支援装置の購入・設置を助成します」といった事業がスタートしている。この事業はアクセルペダルの踏み間違いによる、急加速抑制装置としての機能を有する安全運転支援装置の販売、設置を行う事業者に対し1台につき費用の9割、上限10万円までを助成するという非常に力が入った事業となっている。世間は高齢者の運転免許証返納を促す風潮にあるが、逆にこういった高齢者ドライバーを支援する事業が必要ではないのか。特に本市のような広い面積で中山間地域が多い自治体では、東京都以上に車そのものが重要なライフラインを担っているといっても過言ではない。市の見解を伺う。

**A** 国や県の動向を注視しながら、既に補助制度を導入している自治体の状況把握を行ない、後付の「ペダル踏み間違い時加速抑制装置」の設置に係る補助制度について、前向きに検討をしまいる。

## ☆こども館にっこりの安全性と整備計画について (こども支援課)

耐震性や安全性など今後の整備計画を伺う

耐震性については問題ない。今後も適切な維持管理に努めていく

**Q** 建設から約30年が経過した現在、この建物の耐震性や総合的な安全性について、今後の整備計画を伺う。

**A** 乳幼児施設を有する早期避難所としての機能を保持しつつ、岩国市公共施設等総合管理計画をふまえ、適切な維持管理に努めていく。耐震性については問題ない。また、保護者も楽しい時間を過ごすことができ、安心して子育てをすることができるよう、引き続き子育て支援の中心的施設として活用してまいる。

### 徒然記

世間では高齢者ドライバーによる事故が取り沙汰されていますが、その前に行政としてやらなければならない事があるのではないですか？ 運転免許証の返納という手っ取り早い手段に委ねるだけではなく、車以外に交通手段のない方々への配慮が必要ではないでしょうか。



☆今日の一句 **気が付けば 私もだった 高齢者**